

乳児期からの反復症状と夜間のかゆみを経て治療終了に至った幼児アトピーの経過 (2歳 女児)

症例 ID：001-02-OSa | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

生後4か月頃に耳切れと口周囲の赤みが出ました。冬季に症状が出て春に軽減する経過を繰り返し、年を追うごとに範囲が広がりました。強い外用薬と飲み薬を約4か月使用し、中止すると顔が著しく乾燥して悪化しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	外用薬を段階的に強くし、夜間症状に対して飲み薬も使用しました。
製品名	不明です。
強度	強い外用薬の使用歴があります。
使用期間	外用薬は複数年、飲み薬は約4か月です。
中止時期	松本医院での治療開始前です。
来院前／後	来院前に外用薬・内服薬の使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後4か月頃	発症	耳切れと口周囲の赤みが出ました。
1～2年後	反復・拡大	冬季に再燃し、夜間に何度も起きるようになりました。
治療前	薬剤使用	外用薬が強くなり、飲み薬も約4か月使用しました。
治療開始後	リバウンド	消毒時の痛み、苦い煎じ薬、夜間の強いかゆみが続きました。
数か月～1年超	症状の波	良い時期と悪い時期を繰り返しました。
幼稚園入園後	改善	赤みとかゆみが減り、夜に眠れる日が増えました。
約1年半後	治療終了	症状が落ち着き、治療を終了しました。

4. ピーク時期

ピークは、薬剤中止後から治療初期に、顔が強く乾燥し、夜間のかゆみと消毒時の痛みが続いた時期です。

5. 困りごと

- 親子とも夜間の睡眠が妨げられました。
- 下の子の入院と重なり、母親の負担が大きくなりました。
- 消毒、薬浴、煎じ薬の継続が難しい時期がありました。

6. 経過のまとめ

幼稚園入園後に赤みとかゆみが減り、夜に眠れる日が増えました。

治療開始から約1年半後には治療を終了し、元気に幼稚園へ通う生活を送っていました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。